



ボルボ社製 トレーラー

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
中岡 靖

社会の『お役に立つ』事で、 我々に関係する全ての人達の幸せを実現する

鶴山運送は物流を通じて、社会のお役に立ち、関係する全ての人達の幸せを実現します。
そのために、

- ①Mission（使命）を確実に遂行し、
- ②Work Style（やり方・姿勢）を磨き上げ、
- ③物流サービスマンとしての行動基準に沿って、事業活動することで理念を実現していきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- ・2034年に売上高100億円を超える物流グループ企業へと成長する。
- ・物流サービスの高付加価値化と倉庫業の強化を通じて、収益性と持続可能性を確立する。
- ・従業員が安心して長期的に働ける企業基盤（働き方改革、DX化、待遇改善）を構築する。

課題

- ・地場密着型の既存顧客中心の営業モデルに依存しており、広域展開に弱い。
- ・倉庫機能や流通加工体制が限定的で、多機能対応が困難な状況。
- ・ドライバー・作業員の人材確保および定着率向上に課題。
- ・デジタル化・IT活用が一部にとどまり、業務効率にばらつきがある。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・M&Aを通じた営業エリアの拡大と多業種対応物流機能の獲得。
- ・3PL、共同配送、IT化による高収益型の物流モデル構築。
- ・地域中核倉庫を整備し、倉庫業収益を強化。
- ・環境対応車両の導入やSDGs視点によるブランド力強化。

実施体制

- ・代表取締役直轄の「成長戦略推進室（仮称）」を設置し、M&A戦略・新規事業の企画推進を担う。
- ・各部署においてDX担当者を任命し、現場主導での業務改革を実施。
- ・地域の金融機関・商工団体・専門家と連携した成長支援体制を構築。
- ・従業員教育の強化（資格取得支援、IT研修、マネジメント育成）を実施。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

- 本社所在地：岡山県津山市くめ50番79
- 事業概要：運送業、倉庫業
- 常時使用する従業員：75名（2025年3月時点）
- 現在の売上高：13億円（2025年3月期）
- 法人番号：2260001019631
- Web： <https://www.kakuzanunso.com/>

売上高100億円実現に向けた具体的戦略

1. 将来的な企業成長ビジョン

当社は、地域密着型の運送会社として培ってきた信頼と実績を土台に、2034年に売上100億円を超える企業への成長を目指します。

その中核戦略は、「戦略的M&A」と「付加価値の高い物流サービスの提供」です。

(1)戦略的M&Aによる事業拡大・近隣地域および広域での運送・物流事業者の買収・提携を積極的に推進し、サービス網の拡大と事業基盤の強化を図ります。

これにより、単なる輸送業務に留まらず、3PL事業の展開も見据え、売上規模と業容の拡大を実現します。

(2)付加価値の高い物流サービスの創出。単なる「運ぶ」だけの物流から、荷主企業にとっての「経営パートナー」として機能する次世代型物流企業へと転換を図ります。

そのために、以下の施策を段階的に進めます

- 3PL事業の展開：物流最適化を支援する提案型サービスを実現。
- 共同配送・幹線輸送の構築：空車率低減と環境負荷軽減を両立する物流網の整備。
- 「物流」×「IT」による可視化・分析サービス：データ提供を通じた荷主の経営支援。
- エコ物流・SDGs対応：EV車や環境配慮型梱包による持続可能な物流の実現。

(3)倉庫業の強化と多機能化

当社は、従来の「保管する倉庫」から脱却し、「付加価値を生む倉庫」への進化を進めます。

倉庫業を物流サービスの中核に据えることで、より高収益型のビジネスモデルを構築してまいります。

- 地域ハブ倉庫の整備：津山市を中心に広域配送の拠点となる中継型倉庫を整備。
- 温度帯別・用途別の高機能倉庫：食品や医薬品などに対応する多温度帯倉庫の整備。
- 流通加工機能の導入：仕分け・検品・包装などに対応する加工機能付き倉庫の展開。
- 在庫管理・トレーサビリティのIT化：WMS導入による在庫の可視化と荷主支援。

